

小6

中学受験 算数

きほん

こたえ

名前

仕事算

____ 月 ____ 日

れい

A1人で6日、B1人で3日かかる仕事。全体を6と3の最小公倍数の6とすると、Aは1日に1、Bは1日に2

2人でやると $6 \div (1 + 2) = 2$ (日)。全体の仕事量は、かかる日数ならどの数でもよいが、最小公倍数がいちばん計算しやすい

1 1人・2人でかかる日数 基本

次の問いに答えなさい。

- (1) ある仕事を、Aさん1人でやると 10 日、Bさん1人でやると 12 日かかります。この仕事をAさんとBさんの2人で 3 日やると、全体のどれだけが終わりますか。

$$10 \times 12 \div 2 = 60 \quad 60 \div 10 = 6 \quad 60 \div 12 = 5 \quad (6 + 5) \times 3 = 33 \quad \text{答え 全体の } \frac{11}{20}$$

- (2) ある仕事を、Aさん1人でやると 9 日、Bさん1人でやると 18 日かかります。この仕事をAさんとBさんの2人でやると、何日かかりますか。

$$9 \times 18 \div 9 = 18 \quad 18 \div 9 = 2 \quad 18 \div 18 = 1 \quad 2 + 1 = 3 \quad \text{答え 3日}$$

- (3) ある仕事を、Aさん1人でやると 15 日、Bさん1人でやると 10 日かかります。この仕事をAさんが 12 日やったあと、残りをBさんが1人でやりました。Bさんが働いたのは何日ですか。

$$15 \times 10 \div 5 = 30 \quad 30 \div 15 = 2 \quad 30 \div 10 = 3 \quad 3 - 2 = 1 \quad \text{答え 1日}$$

- (4) ある仕事を、Aさん1人でやると 14 日、Bさん1人でやると 4 日かかります。この仕事をAさんとBさんの2人で 1 日やると、全体のどれだけが終わりますか。

$$14 \times 4 \div 2 = 28 \quad 28 \div 14 = 2 \quad 28 \div 4 = 7 \quad (2 + 7) \times 1 = 9 \quad \text{答え 全体の } \frac{9}{28}$$

できた

/ 4問

